



平成29年11月15日 第803号

一社団法人日本遺族会 千代田区九段南一丁目六番三十一号 電話東京三〇三六〇三 東京三〇三六〇三 東京三〇三六〇三

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

靖国神社 秋季例大祭を肅行 天皇陛下からの幣帛を奉納

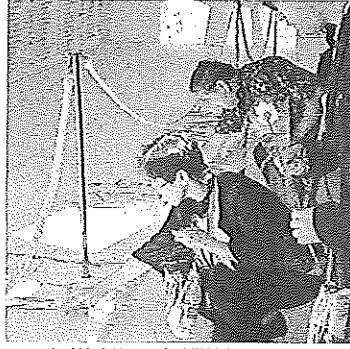
東京・靖国神社では、十月十七日から二十日までの四日間、わたり秋季例大祭が肅行された。十八日の当日祭には、天皇陛下から勅使が差し遣われ御幣帛が奉納された。また、秋季例大祭に合わせ、安倍晋三内閣総理大臣、伊達忠一参議院議長、加藤勝信厚生労働大臣が「天皇幣」を奉納した。

靖国神社秋季例大祭は、十月十七日の「清版」で始まり、翌十八日は当に執り行われた。日祭が肅行され、全国から戦没者遺族をはじめ、康久宮司以下の神職が本殿に進み、國學院大學吹奏楽部が「山の幸」を演奏するなか、神饌を献上し、徳川宮司が祝詞を奏上した。十時三十分には、天皇陛下より遣わされた勅使・唐橋在俊典義が参進し、新たに五柱を合祀した。

70周年記念事業で アメリカ慰霊施設を視察

日本遺族会は創立七十周年の記念事業の一環として、「アメリカ慰霊施設等視察」を実施した。九月二十一日、宇田川親雄本会副会長を団長、市来健之助本会副会長を副団長とする訪問団二十六人は、成田空港に集合し、結団式を行い、夜行便でハワイ州のホノルルへと出発した。日付変更線を越えて、同日の早朝にホノルルに到着した一行は、そのまゝパールハーバー真珠湾に向かった。米軍の旧格納庫を改装

して作られた金洋航空博物館、艦上で日本の降伏文書調印式が行われたアメリカで最後の戦艦と呼ばれる戦艦ミズーリ記念館を見学した訪問団は、パールハーバービジターセンターで父親が第二次世界大戦に日系部隊として参加した日系米国人と交流した。その後、日本軍の真珠湾攻撃で撃沈された戦艦アリソンナ及びその乗組員を追悼するために戦艦の真上に建設されたアリソナ記念館に専用船で渡



真珠湾攻撃での米兵犠牲者の冥福を祈り献花 = 9月21日、アリソナ記念館で

午後、アリントン国立墓地を訪問し、国の管理の下、アメリカ建国から現在にいたるまで国のために戦い命を捧げた兵士や、多くの英雄的な存在が約三十万人が埋葬されている広大な敷地内を循環バスに乗って視察。訓練された衛兵が二十四時間交替で警備が続けられている無名戦士の墓では、訪問団を代表して宇田川親長、市来副団長、そしてオレゴン州から駆けつけたOBONソサエティ代表のレックス・スミス夫妻が花輪を捧げた。また夜には、日系アメリカ退役軍人会から五人OBONソサエティ代表

と、例大祭期間中に超党派の国会議員で組織する「みんなで靖国神社」に参拝する国会議員の姿は、衆議院の解散に伴い、選考期間中であったことから、会としての参拝は行わず、尾花秀久会長が代表として十七日に昇殿参拝した。 本会関係者 栄えある受賞 秋の叙勲 政府は平成二十九年秋の叙勲及び褒章授章者を発表した。榮譽に輝いた本会関係者は次の方々である。 ▲旭日重光章 國松善次氏(79歳) 本会元常務理事 ▲旭日重光章 田原政信氏(73歳)

選考期間中であったことから、会としての参拝は行わず、尾花秀久会長が代表として十七日に昇殿参拝した。 本会関係者 栄えある受賞 秋の叙勲 政府は平成二十九年秋の叙勲及び褒章授章者を発表した。榮譽に輝いた本会関係者は次の方々である。 ▲旭日重光章 國松善次氏(79歳) 本会元常務理事 ▲旭日重光章 田原政信氏(73歳)

支部長交代 和歌山県で 和歌山県遺族連合会 榎本 正博氏 (十一月一日付)

支部長交代 和歌山県で 和歌山県遺族連合会 榎本 正博氏 (十一月一日付)

支部長交代 和歌山県で 和歌山県遺族連合会 榎本 正博氏 (十一月一日付)

支部長交代 和歌山県で 和歌山県遺族連合会 榎本 正博氏 (十一月一日付)

支部長交代 和歌山県で 和歌山県遺族連合会 榎本 正博氏 (十一月一日付)

支部長交代 和歌山県で 和歌山県遺族連合会 榎本 正博氏 (十一月一日付)

平成三十年版 靖国カレンダーを 家庭にかかげましょう 申し込み方法 維持会費 一口五〇〇円(送料別途を添えて) ①英霊にこたえる会靖国カレンダー業務課(〒102-0073 東京都千代田区九段北三〇三二一) 靖国神社遺跡館内 電話〇三一一三六四一四六・〇三一一三六四一七四・一五五 Five@reikosenkai.com のいずれか ②別途申込書で、お住まいの「英霊にこたえる会都道府県本部」宛 郵送(一部一口)から取り扱っております。送料は、前記「都道府県本部」または「靖国カレンダー業務課」にお問い合わせ下さい。

英霊の御心を 次の世代に伝えましょう 送付先 維持会費は、左記宛に送金願います。 郵便局 郵便振替 口座番号 〇〇一六〇〇一七〇四 口座名 英霊にこたえる会 靖国カレンダー業務課

秋季慰霊祭を挙行

寛仁親王妃殿下御臨席

千鳥ヶ淵 皇苑

東京・千代田区の千鳥ヶ淵戦没者墓苑で十月十八日、寛仁親王妃殿下御臨席のもと、秋季慰霊祭がしめやかに執り行われた。慰霊祭には全国から参集した遺族、同墓苑奉仕会の会員、統合葬儀協議議長をはじめ陸・海・空各幕僚長、各自衛隊代表部隊、在日駐在武官などが参拝し、戦没者の冥福を祈った。

慰霊祭は、内閣総理大臣代理、日本遺族会宇田会長式辞、昭和天皇御製、川親皇副会長ら六百人が参列し午後一時、寛仁親王妃殿下のご臨場で挙行された。

開式の辞に次いで、海上自衛隊音楽隊の奏樂により国歌斉唱を行い、献

茶の儀、津島雄三奉仕会と、寛仁親王妃殿下のご英霊に対し深々と御拝礼、妃殿下に合わせて参列者一同も拝礼し、黙禱を捧げた。

寛仁親王妃殿下が御退場の後、陸・海・空各自衛隊代表部隊が拝礼、宇田副会長をはじめ来賓の献花が行われ、参列者の焼香と続き、殿前うらちに式典は終了した。

千鳥ヶ淵戦没者墓苑先の大戦で亡くなられた戦没者の遺骨を納めるため、昭和二十四年日本国政府により建立された。



ご臨席される寛仁親王妃殿下=10月18日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で

事務局長・職員研修会開催

本部・支部の連携強化再確認

十月二日、三日の二日において全国の事務局間にわたり岡山県岡山市「アークホテル岡山」から水落敬栄会長、畔上和

男事務理事ら四十七人が参加して、平成二十九年事務局長・職員研修会が開催された。

はじめに水落会長が挨拶にたち、「日本遺族会は九月十九日、天皇皇后両陛下の行幸啓を仰ぎ、創立七十周年の記念式典を挙げる事ができた。本式典では、お帰りの際「遺族も高齢化し大変だと思っております、よろしくお願いたします」と天皇陛下より直々におことばを賜った。」と、式典時のエピソードを紹介。研修会開催地の岡山県遺族連盟に謝意を述べ



事務局長・職員研修会に参加し、挨拶する水落敬栄本会長=10月2日、アークホテル岡山で

各ブロック会議を開催

真剣な議論交わされる

九月から十月にかけて、遺族会が抱える諸問題等真剣な議論が交わされ、各ブロック会議が相次いで開催された。

本会からは水落敬栄会長、宇田川親雄、市来健之助の岡副会長らが手分けして出席した。各都道府県遺族会から正副会長、女性部長等の役員及び事務局局長らが出席し

た。また「遺族会の抱える多くの諸問題の解決には、会の要である支部事務局の皆さんの力にかかっている。本部、支部一体となって頑張るべきです」と挨拶した。

山田周一(宮城)事務局長協賛会幹事が歴史を再確認し研修会は終了した。

れ、英霊顕彰・処遇改善運動、青年部組織の結成状況調査結果等について意見が交わされた。

高齢化が進む遺族会にあって、会の運営はより一層厳しい状況が予想され、本部・支部の連携強化を再確認し研修会は終了した。

会とも密みが多く、成功例等の紹介や「青年部」の位置付けなど、取り組むべき課題について真剣な議論が交わされた。

なお、第五ブロック会議は九月十四、十五日、宮崎市高崎神宮会館で、第二ブロック会議は十月五、六日、茨城県北茨城市五浦観光ホテルで、第

本会への賛助金のお礼

本紙(回面)でもお願 籍田友行、内田徳彦、長谷川初枝、細田勝彦、水谷興志、坂井千枝枝、松島達子、熱行信秀、馬場信子、西田剛、大塚英美、橋本義之、高橋善子、佐藤レイ子、古井恭子、井上雅子、中尾孝純、八木あつ子、吉川寿一、澤井宏之、今井靖夫、香平良子、柳清史、井上信代、井上兼代子、南出弘治、吉田敏子、寺崎壽子、大浦真江、石井和子、斎藤昭治、森野 藤原信子、阿久井隆、泉亘子、松尾野英子、若竹豊、工藤直、根本征子、大島登子、吉田敏子、岡倉三郎、山

内節子、根本祥枝、服部康伸、服部豊利、野澤とみえ、岡野利幸、井上宏、浜辺義範、河口志津子、辻井健、古川平、古川香、堀本美智子、青柳達夫、今村富夫、高見敬子、伊藤敏子、木村均、中村孝、中田節、中山征勇、遠藤カオル、クワヤマイチロウジ、シバタイ

チロウ、オクマキヨタカ、タナカサブロウ(以上、九月一日から十月末日まで)

皆様からいただきました賛助金は、本会が実施する各種慰霊事業などの活動費用に利用させていただきます。誠にありがとうございます。

日本遺族会への賛助金のお礼

日本遺族会では、英霊の安寧と遺族の健康、慰霊及好戦事業、遺骨収集等諸事業の活動のために賛助金を募っております。本会の活動の趣旨にご理解を賜り、何卒ご賛助いただきますようお願い申し上げます。

●郵送先
〒030-0808 東京都千代田区千代田1-1-1
030308080

●お振込先
口座名義 日本遺族会
030308080

推薦候補者17人が当選

衆議院議員総選挙で政治連盟

十月二十二日、投票が行われた第四十八回衆議院議員総選挙は、野党連合により自民党は大幅に議席を減らす事が予想されたが、希望の党の小池百合子代表が、排除の論議を唱えた事により情勢が逆転、自民党は二百八十四議席を獲得し、安室多数を得た。

日本遺族政治連盟では、各都道府県本部から推薦のあった百八十七人を推薦候補者に決定し、全員の当選を期して支援活動を行った結果、百七十五人が当選した。本連盟関係者では、伊東良孝北海道連合遺族会理事、田村憲久三重県遺族会会長が当選した。

水落会長が文科副大臣再任

第四次安倍内閣

十一月一日、先の衆議院選挙の結果を受け第一九五特別国会が召集され、安倍晋三内閣総理大臣は、第九十八代内閣総理大臣に指名された。

安倍総理大臣は直ちに閣内閣に着手し、八月三日



に第三次安倍第二次改造内閣を発足させた際、指名した閣僚全てを再任し、副大臣には、水落敬栄文部科学副大臣(本会会長)を再任させ、第四次安倍内閣が発足した。

▼監事会 11月10日
①平成29年度各会計等上半期計算書関係書類の監査②平成29年度支部事務局職員共済会上半期月次決算の監査。

好業 友事 霊善 慰親

亡き父の冥福祈る 五地域を相次いで実施

日本遺族会では、戦没者遺児による慰霊友好親善事業のモンゴル、西部ニューギニア、東部ニューギニア、トラック・パラオ諸島、マリアナ諸島を相次いで実施した。訪問団は、各地で父の眠る地を訪れ慰霊祭を行ったほか、小学校や病院を訪問し、学用品や車椅子等を寄贈するなどの民間外交を行い、友好親善を深めた。

モンゴル

池田中征司本会幹事を団長とするモンゴル慰霊友好親善訪問団は、八月二十五日靖国霊園に参集。結団式の後、本館に上がり昇殿参拝、翌日、モンゴルのウランバートルへと出発した。

一行は翌十七日北方の町スバートルの埋葬跡地へ、亡き父に手を合わせた。

二十八日には、ウランバートルに戻りボジルボラン、グンバダルの埋葬跡地へ慰霊祭を行った。

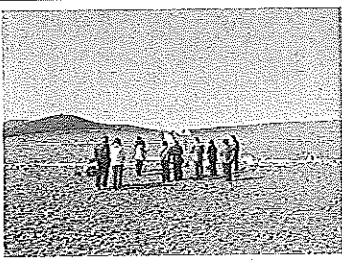
二十九日、市内の孤児院を訪問し学用品等を寄贈。敷地内にボブラの苗木を記念植樹した。その後、市内のホテルで車椅子をモンゴル整形病院へと寄贈した。

同日午後三時よりタンバダルの「日本人死没者慰霊碑」で在モンゴル日本国大使館代表の参列のもと、モンゴル全戦没者追悼式を挙行し、御霊の安らかならんことを祈った。

一行は全日程を終了し、翌三十日に全員無事帰国した。

一行は全日程を終了し、翌三十日に全員無事帰国した。

一行は全日程を終了し、翌三十日に全員無事帰国した。



ボジルボランの埋葬跡地での慰霊祭 = 8月28日、ウランバートル地区で



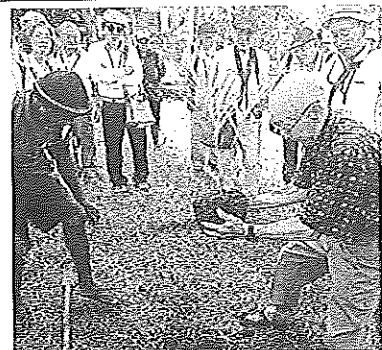
亡き父に積年の思いを語りかける団員 = 9月28日、コダバルで

レス小学校を訪問し団員が持ち寄った学用品・衣類等を寄贈し、友好の記念植樹も行った。さらにA班がジャヤプラのセントニコ立クリニック病院へ、B班はタンジュガランのタリタクム公立クリニック病院へ車椅子等を寄贈した。

十月一日、ピアク島にある日本政府建立の「第二次世界大戦慰霊碑」前において、全戦没者追悼式を挙行し、英霊に感謝の誠を捧げた。

本訪問団は所期の目的を果たし、四日、全員無事帰国した。

本訪問団は所期の目的を果たし、四日、全員無事帰国した。



ウエワクヒル小学校の敷地内で植樹を行う = 10月16日、ウエワクで

東部ニューギニア

杉山英夫本会理事を団長とする東部ニューギニア慰霊友好親善訪問団は十月十七日、全国の遺児代表十七人が東京・靖国霊園に集合し結団式を行った。同夜、亡き父の眠る東部ニューギニアの地に向け出発、翌朝パプアニューギニアの首都ポートモレレビに到着した。

一行はラエ北西のキアリ、ラエのプス河、南東

一行はラエ北西のキアリ、ラエのプス河、南東

のサラモア、ウエワク西のマリキン、ポイキン、マルジツプ、アスパイン、ヤカムル、坂東川、及び同東方のテレブ、テリン、マンセツプをそれぞれ機上選擇するとともに、ラエ、ウエワク、ポイキン、パラムで慰霊祭を挙行し、亡き父への積年の想いを心ゆくまで語りかけた。共に敬慕された英霊の冥福を祈った。

十六日にはウエワクの「ニューギニア戦没者の碑」前において、全戦没者追悼式を挙行し、御霊の安らかならんことを祈った。

一行は全日程を終了し、翌二十日に全員無事帰国した。

一行は全日程を終了し、翌二十日に全員無事帰国した。

トラック・パラオ諸島 伊藤早苗本会評議員(三重県遺族会副会長)を団長とするトラック・パラオ諸島慰霊友好親善訪問団は、十月十四日東京・九段で結団式を行い、その後、靖国神社に昇殿参拝、翌日二班に分かれクアムビュド、ロネシア連邦チューク、パラオ共和国・コロルにそれぞれ到着した。

十六日より、慰霊選擇を実施。トラック班は、トラック環礁内北・南水道方面で洋上慰霊祭を行ったほか、竹島、前島にて

十六日より、慰霊選擇を実施。トラック班は、トラック環礁内北・南水道方面で洋上慰霊祭を行ったほか、竹島、前島にて

十六日より、慰霊選擇を実施。トラック班は、トラック環礁内北・南水道方面で洋上慰霊祭を行ったほか、竹島、前島にて



ミュージンズ小学校へバスケットボール等を寄贈する = 10月18日、パラオで

個人慰霊祭を行い亡き父の冥福を祈った。

また、パラオ班は、十六日パラオ本島・ガスパンの兵站病院跡、マラルカ島ミュージンズの旧日本軍水上基地跡にて慰霊祭を行った。なお、台風の影響でベリリニュー島の渡島は中止となり、翌十七日パラオ港パブリック公園内でベリリニュー島方面を選擇し慰霊祭を行った。

トラック班は十九日、チュウクにて、パラオ班は十七日にコロル島の海軍墓地にてそれぞれ全戦没者追悼式を挙行し、慰

トラック班は十九日、チュウクにて、パラオ班は十七日にコロル島の海軍墓地にてそれぞれ全戦没者追悼式を挙行し、慰

の誠を尽くした。さらに、西班とも小学校に学用品や衣類等を、病院に車椅子を寄贈して友好親善を深めた。

同日午後、サイパン島マツビの「中部太平洋戦没者の碑」前において、在サイパン領事事務所長徳田欣二領事参列のもと、全戦没者追悼式を挙行し、中部太平洋諸島及び周辺海域で戦没された英霊に感謝と追悼の誠を捧げた。

同日午後、サイパン島マツビの「中部太平洋戦没者の碑」前において、在サイパン領事事務所長徳田欣二領事参列のもと、全戦没者追悼式を挙行し、中部太平洋諸島及び周辺海域で戦没された英霊に感謝と追悼の誠を捧げた。

同日午後、サイパン島マツビの「中部太平洋戦没者の碑」前において、在サイパン領事事務所長徳田欣二領事参列のもと、全戦没者追悼式を挙行し、中部太平洋諸島及び周辺海域で戦没された英霊に感謝と追悼の誠を捧げた。

一行は、サイパン島のタポーチヨ山、サイパン神社、バナール飛行場、地獄谷、北西海岸、テニアン島の第五十六層階隊慰霊碑を巡りそれぞれ慰霊祭を執り行い、亡き父に積年の思いを語りかけ、共に敬慕された英霊の冥福を祈った。

二十三日午前には、サイパン島の北マリアナ公立病院を訪問し、車椅子等を寄贈し現地の方々と友好を深めた。

同日午後、サイパン島マツビの「中部太平洋戦没者の碑」前において、在サイパン領事事務所長徳田欣二領事参列のもと、全戦没者追悼式を挙行し、中部太平洋諸島及び周辺海域で戦没された英霊に感謝と追悼の誠を捧げた。

同日午後、サイパン島マツビの「中部太平洋戦没者の碑」前において、在サイパン領事事務所長徳田欣二領事参列のもと、全戦没者追悼式を挙行し、中部太平洋諸島及び周辺海域で戦没された英霊に感謝と追悼の誠を捧げた。

遺児の参加者募集 慰霊友好親善事業

募集要項については次のとおり。
▼時期及び地域 実施概要参照。
▼参加費 10万円。
※東京等に集合し、結団式及び渡航に係る説明会まで及び解散場所の手配となる。また、移動に係る費用は各自負担とする。

▼参加資格 戦没者の遺児。二十八年度参加者を除き、複数回の応募が出来る。
▼申込方法 在住する各都道府県遺族会事務局まで及び解散場所の手配となる。また、移動に係る費用は各自負担とする。

▼申込方法 在住する各都道府県遺族会事務局まで及び解散場所の手配となる。また、移動に係る費用は各自負担とする。

実施概要

(広域地域)				
実施地域	実施時期	募集人員	申込締切	
1 台湾・バシー海峡	平成30年 2月1日～2月7日	20人	12月1日	
2 東部ニューギニア(2次)	平成30年 2月7日～2月14日	42人	12月7日	
3 ミャンマー(2次)	平成30年 2月26日～3月7日	60人	12月22日	
4 フィリピン(2次)	平成30年 3月13日～3月20日	120人	1月12日	
5 中国	平成30年 3月22日～3月30日	80人	1月22日	
(特定地域)				
実施地域	実施時期	募集人員	申込締切	
1 ビスマルク諸島	平成30年 2月7日～2月14日	36人	12月7日	



「中部太平洋戦没者の碑」前で全戦没者追悼式を挙行 = 10月23日、サイパンで

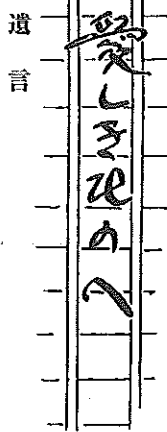
来場者が一三、六八二人

鹿児島で巡回特別企画展

昭和館

昭和館が毎年実施している巡回特別企画展「戦中・戦後のくらし 鹿児島展」が、十月二十一日から三十一日まで鹿児島市の山形屋文化ホールで開催された。会期中、二十四日には県主催の戦没者追悼式の参列遺族が多数来場されたほか、地元関連資料等の展示により、これまでの巡回特別企画展で最大の来場者数となった。

東京・九段下にある昭 となった今回の企画展で、三、六八二人が訪れた。和館では、毎年二カ所ずつ、約二百五十点の展示、会期中の二十四日には、巡回特別企画展を開催。資料のうち、鹿児島県に 鹿児島県主催の戦没者追悼式が開催され、参列遺関係する資料が約百六十点紹介された。また、開 族らが多数訪れた。平成十三年から開始 催期間中の来場者は一 展示品には、戦地からし、三十一回目の開催と



遺言

陸軍曹長 笹 榮藏
昭和十九年十一月二十八日
中華民國雲南省邊境陣亡中
和歌山県日高郡高野村出身 三十三歳

大命に依り勇躍征途に就く
男子の本懐之に過ぐるものなし
心に掛る事はなし
一人の親一人の子供を大切に幸福に暮らされよ
空晴れて 心にかかる 雲もなし

笹 春枝殿
幼くて何事も不明だらう
やがて分かる時は来る
良く母の教へを守り立派な人間となれ
父は其れのみ祈る

忠 孝 一致
昭和十九年六月十五日
幸代へ

父
（原文のまま）
愛しきものへ
平成二十九年十一月靖国神社遺言

恩給に関する総務省からのお知らせ

今年から、12月の支払開始日は、「6日」から「21日」に変更となります

※4月、7月、10月の支払開始日は「6日」で変更ありません。

恩給は年4回、原則、1月、4月、7月、10月の各6日に、その前3ヵ月分を後払いでお支払することとなっておりますが、これまで1月期支給分(10月から12月分)は、皆さまのお正月の準備資金として、12月6日に1ヵ月前倒しをお支払いしておりました。1月期支給分のうち、12月分については、本来、12月1日時点にご存命である方にお支払いすべきものです。一方、12月6日にお支払いするためには、事務の手続き上、11月16日頃に住民基本台帳ネットワークシステムを利用したご存命の確認を行う必要があったことから、12月1日時点のご存命の確認がとれない方にも12月分をお支払することとなっております。

このため、12月分が支払超過となった方々のご家族・ご相続人様に対して、過払金の返却手続きについて大変なご負担をおかけしておりました。

この状況を解消するため、本年12月から、ご存命の確認を12月4日頃に行うこととし、1月期支給分の支払開始日を12月6日から同月21日に変更することとしました。

受給者の皆さまにおかれましては、支払開始日の変更により、ご不便等をおかけすることになると思いますが、何卒、ご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先
電話 03-5273-1400(総務局恩給相談室)
〒162-8022 東京都新宿区若松町19-1

鹿児島県に住む家族に送られた軍事郵便の数々や、昭和二十年の鹿児島、加治原の空襲被害写真や手記、戦後進駐軍によって撮影されたカラ、映像など、戦中・戦後の鹿児島県内ゆかりのある資料が紹介された。また、県内に住む遺族の方々が伊賀市内に在住していることが判明した。

戦没者の遺品の返還運動を推進しているOBONソサエティから本会に照会があった根本哲氏の日章旗について、三重県遺族会へ遺族の捜索を依頼していたところ、伊賀市遺族会の協力を得て、妹の根本トメノさんが伊賀市内に在住していることが判明した。



戦死した根本哲氏の遺影とともに日章旗を受け取る遺族 = 9月24日、三重県伊賀市で

三重県で日章旗返還 OBONソサエティ

OBONソサエティは遺族への返還を依頼していた。九月二十四日、市内で開かれた伊賀市戦没者追悼式(市主催)で、日章旗の返還式が行われた。

伊賀市長も立ち合い、日章旗の持ち主探しに奔走した市遺族会の田中徹会長からトメノさんら家族に日章旗が手渡された。

兄の旗を手にしたトメノさんは、「今になって兄が帰ってくるなんて感激です。この旗を兄と供養します。」と話していた。

参加された遺族収集や慰霊友好親善などの活動も紹介された。

さらに昨年より、鹿児島県在住の方から、戦中から戦後にかけての労苦を語る証言映像もあわせ

取録を行い、会場でも上映され、涙ぐむ来場者もあつた。

本展示では、会場となった山形屋パーテーションの〇〇周年を迎える年であったことから、山形屋に関する戦前から戦後の実物資料、写真なども併せて紹介し、より地域に密着した展示を実施することができた。また、鹿児島県、加治原などの戦後のカラ、映像は地元で

多くの注目を浴び、様々な地元メディアにて紹介された。

お問い合わせ先・昭和館 電話 03-5273-1400

▼福島県 9月15日
平成29年度小田山忠霊堂慰霊祭(450人)

▼新潟県 10月3日
第66回新潟県戦没者慰霊遺族大会(650人)

▼埼玉県 10月5日
創立70周年記念式典(1445人)

▼秋田県 9月8日
創立65周年記念式典並びに青年部結成式(115人)

▼各都道府県遺族会で、実施された大会、研修会等は次のとおり。

「九段短歌」の休載のお知らせ

九段短歌は新しい選者が決定するまでの間、休載させていただきます。

本会事業参加者の皆様へ

本会の事業に参加するに当たり、得た個人情報(「個人情報保護法」の定めにより、厳重に扱い)を、日本遺族会の個人情報保護方針に基づきましてはホームページを参照されるか、本会にお問い合わせください。

靖国神社では、平成三十年に創立百五十周年を迎えるにあたり、記念事業を実施いたします。皆様からの支援をお願いしております。

このための記念事業では、次の三つの事業を中心に行います。

一、本館・拝殿・霊園等安全確保工事
(冷房機の設置、エレベーターの設置、パリアフリー化、耐震補修)

二、拝殿・霊園内装改修・休憩所設置工事
つきましては、遺族、崇敬者各位をはじめ幅広い国民の皆様方のご賛同を賜り、この記念事業のご奉賛と共に、崇敬者各位へ併せてご入会いただきますようお願い申し上げます。

靖国神社御創立 百五十年記念事業

靖国神社では、平成三十年に創立百五十周年を迎えるにあたり、記念事業を実施いたします。皆様からの支援をお願いしております。

このための記念事業では、次の三つの事業を中心に行います。

一、本館・拝殿・霊園等安全確保工事
(冷房機の設置、エレベーターの設置、パリアフリー化、耐震補修)

二、拝殿・霊園内装改修・休憩所設置工事
つきましては、遺族、崇敬者各位をはじめ幅広い国民の皆様方のご賛同を賜り、この記念事業のご奉賛と共に、崇敬者各位へ併せてご入会いただきますようお願い申し上げます。

靖国神社 電話 03-3268-1111

靖国神社 崇敬者奉賛会事務局
〒101-8201 東京都千代田区九段三丁目一番号
電話 03-3268-1111

●記念事業費(個人) 二十万円
●神主御礼金 十万円
●奉賛金 十万円
●奉賛期間 平成三十一年十一月末